

平成 28 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人バーンロムサイジャパン

1 事業の成果

今期（14 期）も引き続きタイ・チェンマイにある子どもたちのための生活施設「バーンロムサイ」や、周辺地域の社会的に困難な立場にある人々の支援活動を行いました。HIV に母子感染した孤児だけではなく、年々増加している犯罪や貧困などの理由により親と暮らすことのできなくなった子どもたちを受け入れ、生活支援を提供、さらには卒園した 18 歳以上の子どもたちの生活、教育、医療、就労を支援する活動を継続しています。開設より 17 年目を迎えた現在、ホームには 27 名の子どもたちが暮らしていますが、園外で暮らす子どもも 30 名ほどになり、総勢約 60 名の「大きな家族」に成長しています。

バーンロムサイで創設以来継続して行っている地域住民との活動「地域プロジェクト」は、村から HIV/AIDS に対する差別がなくなるきっかけとなった大切な活動ですが、これまでの「サッカープロジェクト」「図書館プロジェクト」などに加え、今年度は新たに「バレーボールプロジェクト」が始動しました。これまでサッカープロジェクトなどを通して進学など様々なチャンスを得てきた男子児童に対し、なかなか機会に恵まれなかった女子児童のための活動です。子どもたちのチームワークを培い、健全な育成を目指すことはもちろんのこと、「サッカープロジェクト」で得たノウハウをもとに、地域の女子児童にも多くのチャンスを提供できるプロジェクトに成長させていきたいと思っています。

収益事業においては、円安の影響を受け厳しい状況が続いた 13 期を踏まえ、現地通貨での収入を安定させることに目標をおいた 14 期でしたが、宿泊施設 hoshihana village の棟数も 2 棟増え、売り上げを伸ばしつつあります。またバーンロムサイプロダクツを宿泊施設内でも購入できるよう、ショップを移設したところ、現地でのプロダクツ売上も増加しています。更に棟数が増える見込みの 15 期には更なる成長が見込め、今後はそれらの水準を安定させていくことも大切と考えます。

懸念事項として、賛助会費・マンスリー会費の落ち込みがあります。クレジットカード会社の決済システム変更により多くの会員が離脱してから 1 年 9 か月が経過しますが、未だ当時ほどの会員数には回復できていないのが現状です。15 期は旧会員への働きかけはもちろんのこと、バーンロムサイジャパンの事務所とショップ所在地である、逗子・鎌倉・葉山地域へのコミュニケーションを増やし、また関連イベントへの出展、ロータリークラブ等への働きかけを増やすことなどにより、会員数の回復に繋がればと考えています。

昨期に引き続き、タイ現地通貨での収入増、また国内では会費増を 15 期目標とし、通貨や政治的不安に左右されにくい体制を固めていきたいと考えます。

2 事業内容

（1） HIV 感染孤児並びに社会的に弱い立場にある人々（被差別にある少数民族、貧困など苦境の中で生活する人々や子どもたち等）への支援事業

① 子どもたちのための生活施設(children's home ban rom sai)運営の経済的・人的支援事業（18 歳以上で卒園する子ども（HIV 母子感染孤児）への学費・医療費・生活費支援も継続）。定員は常時 30 名、卒園児は毎年出るため、今後も支援対象となる子どもは増える見込み。

② HIV 感染孤児並びに社会的に弱い立場にある人々に対しての支援事業

- ・ HIV 感染児童や周辺地域の子ども達への継続的な啓発活動。
- ・ 周辺貧困地域の子供達、HIV 感染児へのスカラシップ事業
- ・ 地域プロジェクトを通じた地域支援・活性化

- 1) 読書推進（図書館）プロジェクト → 読書感想文コンテスト等、識字率の向上
- 2) パソコン推進プロジェクト → パソコン能力の向上
- 3) 村のゴミ拾いプロジェクト → 分別等の意識づけ
- 4) スポーツプロジェクト（サッカー、バレーボール） → 子どもの健全な育成、スポーツスカラシップを通じた進学支援
- 5) 火災、水難救助訓練実施
- 6) 山岳民族への支援物資提供

③ HIV 感染者、エイズ患者、少数民族出身者また社会的に弱い立場にある人々に対しての収益事業を通じたサポート

○プロダクツ（物品製作販売）事業

- ・就労訓練提供、またスタッフとして積極的に雇用
→ 14 期は新たに卒園生がスタッフとして加わり、またチェンマイ市内のストリートチルドレンを保護するドロップインセンターの子どもを研修生として受入。
- ・チェンマイ近郊の HIV 感染女性への手工芸品の縫製依頼
- ・日本国内における障害者授産施設への作業依頼
- ・少数民族の伝統工芸品の保持・維持を目的とした商品の染め・織りの依頼及び該当商品の販売

○宿泊施設運営事業

- ・就労訓練提供、またスタッフとして積極的に雇用
- ・少数民族の伝統維持を目的とし、宿泊施設内レストランで少数民族の伝統食をメニューで紹介・提供。

（2）芸術・文化・創作活動による、HIV/AIDS 等社会的課題に関する普及啓蒙活動

- ・ HIV 感染児童らが描いた絵画をリメイクした商品の販売・展示による啓蒙活動
- ・ チェンマイ縫製場で働く HIV 感染者ならびに山岳民族出身者による制作物の展示販売による啓蒙活動
 - ・ 国内外でのイベント等を通しての啓発活動
 - ・ 書籍や写真を通しての HIV/AIDS の現状の紹介
 - ・ 映像、写真やパネル展示を通じた活動紹介（14 期は新映像“*This Place*”上映を含むイベントを多数開催）
 - ・ 創作活動を通じたアートセラピーの実践と絵画教室の開催

（3）その他

- ・ 国内外でのイベント、スタディーツアー受入等を通じたエイズ感染防止啓発活動（14 期は横浜 AIDS 文化フォーラムなどに参加）
- ・ 国内外におけるファンドレイジング
- ・ 収益事業
 - プロダクツ（物品製作販売）事業
 - ・ チェンマイ縫製場での衣類、雑貨類の製作
 - ・ 直営のバーンロムサイショップ、ホシハナショップ、オンラインショップ、また日本・タイの各地で開催される企画展を通じた商品の紹介と販売事業
 - 宿泊施設運営事業
 - ・ チェンマイナンプレー村における宿泊施設の運営。
14 期は新たに宿泊棟を 2 棟追加。
 - ・ 宿泊施設の食事提供を目的としたオーガニックファームプロジェクトの運営。